# **News Release**



# 株式会社日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency,Ltd

25-D-1000 2025 年 10 月 16 日

株式会社日本格付研究所(JCR)は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

# 南海電気鉄道株式会社 (証券コード:9044)

#### 【据置】

長期発行体格付A格付の見通し安定的債券格付A発行登録債予備格付A国内CP格付J-1

## ■格付事由

- (1) 難波を起点に大阪府南部および和歌山県を主たる事業エリアとする民鉄大手。関西国際空港の旅客輸送も手掛ける。鉄道事業を主力とする運輸業のほか、沿線を中心に不動産業、流通業、レジャー・サービス業、建設業といった多様な事業を展開する。24年12月には「通天閣」を所有・運営する通天閣観光を連結子会社にしている。また、26年4月に鉄道事業を分社化し、当社については株式会社NANKAIに商号を変更する予定である。
- (2) 業績は安定して推移する見通しである。コロナ禍を経て運輸業では人流回復および運賃改定の効果がみられているほか、運輸業以外についても着実な業績が見込まれる。また、財務健全性は維持されている。中期経営計画(2025-2027)では成長投資や株主還元などを強化していく方針である。ただし、中期的なキャッシュフローの見通しや保有資産の売却などを考慮すれば、財務健全性の維持は可能と考えられる。以上から、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- (3) 26/3 期の営業利益は366 億円(前期比5.6%増)と、最高益更新を計画している。運輸業におけるインバウンド需要や大阪・関西万博にともなう輸送人員の増加のほか、不動産業のマンション販売増加などが予想される。27/3 期も安定した業績が見込まれる。運輸業では大阪・関西万博の輸送人員の押し上げ効果が剥落するとみられるものの、不動産業における「(仮称)北大阪トラックターミナルⅡ期棟の開業(26年3月竣工予定)」によって賃貸利益が増加する見通しである。
- (4) 25/3 期末のネット DER は 1.25 倍(前期末:1.33 倍)、純有利子負債/EBITDA 倍率は 5.8 倍(同:6.5 倍)である。中計では収益不動産の取得、物流施設の高度化、車両更新、バリアフリー施設の整備といった投資のほか、配当性向の段階的な向上といった株主還元を積極化する方針である。ただし、保有資産の私募リートなどへの売却や政策保有株式の縮減も予定していることから、各種投資や株主還元が財務健全性に関する指標に与える影響は限定的とみられる。

(担当) 加藤 直樹・下田 泰弘

#### ■格付対象

長期発行体格付

#### 発行体: 南海電気鉄道株式会社

対象

#### 【据置】

| 対象                       | 発行額    | 発行日        | 償還期日       | 利率      | 格付 |
|--------------------------|--------|------------|------------|---------|----|
| 第 39 回無担保社債(社債間限定同順位特約付) | 100 億円 | 2016年1月21日 | 2026年1月21日 | 0.75%   | A  |
| 第 40 回無担保社債(社債間限定同順位特約付) | 100 億円 | 2016年6月3日  | 2031年6月3日  | 0. 841% | A  |
| 第 41 回無担保社債(社債間限定同順位特約付) | 100 億円 | 2016年12月8日 | 2031年12月8日 | 0.700%  | A  |

見通し

安定的

格付



| 対象                       | 発行額    | 発行日         | 償還期日        | 利率      | 格付 |
|--------------------------|--------|-------------|-------------|---------|----|
| 第 42 回無担保社債(社債間限定同順位特約付) | 100 億円 | 2017年5月30日  | 2032年5月28日  | 0. 647% | A  |
| 第 43 回無担保社債(社債間限定同順位特約付) | 100 億円 | 2017年11月30日 | 2037年11月30日 | 0. 941% | A  |
| 第 44 回無担保社債(社債間限定同順位特約付) | 100 億円 | 2018年5月23日  | 2038年5月21日  | 0.878%  | A  |
| 第 45 回無担保社債(社債間限定同順位特約付) | 100 億円 | 2018年12月6日  | 2033年12月6日  | 0.871%  | A  |

| 対象    | 発行予定額  | 発行予定期間                 | 予備格付 |
|-------|--------|------------------------|------|
| 発行登録債 | 500 億円 | 2025 年 4 月 28 日から 2 年間 | A    |

| 対象         | 発行限度額  | 格付  |  |
|------------|--------|-----|--|
| コマーシャルペーパー | 400 億円 | J-1 |  |



### 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日: 2025年10月10日

2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者: 里川 武

主任格付アナリスト:加藤 直樹

3. 評価の前提・等級基準:

評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ(https://www.jcr.co.jp/)の「格付関連情報」に「信用格付の種 類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。

4. 信用格付の付与にかかる方法の概要:

本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (https://www.jcr.co.jp/) の「格付関連情報」に、 「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「鉄道」(2020年5月29日)として掲載している。

5. 格付関係者:

(発行体・債務者等) 南海電気鉄道株式会社

6. 本件信用格付の前提・意義・限界:

本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。 本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の 程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではな い。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項 は含まれない。

本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、 本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手した ものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。

- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者:
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要:

JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独 立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当 該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。

9. 格付関係者による関与:

本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。

10.JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置: なし

#### ■留意事項

図意事項
本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等をするとは禁じられています。

予備格付:予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

## ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO(Nationally Recognized Statistical Rating Organization)の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ(https://www.jcr.co.jp/en/)に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026 株式会社日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency 信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル